

多 弁城春田地区の「六夜様」 多彩な出演者が春田に大集合

弁城春田集会所で「六夜様」が8月30日に行われ、地元住民が歌や踊り、劇などのパフォーマンスを披露し、夏の夜を熱く盛り上げました。この六夜様は、昔の春田地区で難病が流行した際、お告げを聞いた長老が祭で厄払いしたことから始まり、その後数百年にわたって伝えられている伝統行事です。※この祭は福智町振興事業等補助金を活用して行われました。



↑かわいいダンス「UFO」や熟練の歌など、全24演目で盛り上がりを見せた六夜様。

↓会場中の視線をくぎ付けにした、マジシャンOGAWA氏によるマジックショー。



暑 第6回福智町憩いの夕べ 暑い夜に憩いのひとときを共有

8月23日に商工会主催の「福智町憩いの夕べ」が商工会館前広場で行われました。場内は商工会の会員が準備した露店が並び、バルーンアートやマジックショー、最高5千円の商品券が当たる赤池スタンプ会の抽選会なども開かれ始終大盛況。フィナーレには打ち上げ花火が夜空を彩り、つるされた電球の淡い明かりの下で語らう約370人を最後まで楽しませていました。

↓アトラクション中、客席を回る藤かおりさんに握手を求める参加者のみなさん。



長 平成26年度福智町敬老会 長年にわたる社会貢献に感謝を込めて

長寿と健康を祝う福智町敬老会が9月14日に金田体育館で開催され、70歳以上の対象者のうち約780人が参加しました。式典では町長や来賓がお祝いの言葉と共に、人生の先輩としてこれからも後輩たちに指導していただきたいとスピーチ。式典後には歌手の藤かおりさんと、物まねタレントの竹原ひろみさんの歌謡ショーが行われ、参加者は楽しい時間を過ごしました。

挑 夏季少年のバス 挑戦や体験を通じてたくましく成長

8月23日から2泊3日の日程で、福智町青少年育成町民会議主催の「夏季少年のバス」が宮崎県五ヶ瀬の里キャンプ場で行われました。雄大な自然のもとで沢登りやカヌーなどの野外活動や、竹の箸作りなどを体験し、最終日の25日には御船町恐竜博物館で大迫力の恐竜の化石を見学。参加した小中学生19人は普段経験できない集団生活のなかで心身を育みました。



↑夏でも冷たい五ヶ瀬川で、歓声を上げながら川遊びやカヌーを体験する参加者。

↓「地域が抱える問題を、自分たちでできることから解決することが防災につながる」と強調する今泉さん。



防 福智町「防災の日」講演会 防災のキーワードは“絆”

全国防災の日の9月1日に防災講演会が地域交流センターで行われました。この講演会は7月24日を福智町防災の日と定めた記念として町で初めて開催されたものです。「目からウロコの「防災まちづくり」と題した講演では、(株)まちづくり計画研究所の今泉重敏さんが「地域コミュニティが強化されていれば、もし災害が起きても、住民同士で被災者を助けることができ、被害を最小限に食い止めることができる」と力説。身近なところから地域の絆を深めていくことの大切さを約250人の参加者に訴えました。

会 第17回上弁城六夜待 会場を湧かせた地域の伝統演芸会

江戸時代から伝わる伝統行事「上弁城六夜待」が、8月23日に上弁城集会所で行われました。この行事は昭和35年に一度途絶えたあと平成9年に復活し、今年は17回目。特設ステージでは、この日のために練習を重ねてきた出演者61人が歌やダンス、バンド演奏など24演目を約200人の観客の前で披露。約5時間にわたる熱演が夏の夜に響き渡りました。



↑会場を爆笑させた、平均年齢48歳のメンバーで構成された「AKB48」のダンス。

↓会場中で大きな歓声があがった、筑豊ご当地アイドル「Smile」のステージ。



地 第9回豊徳祭 地域とのつながり深めた豊徳祭

みろく園（伊方）など福祉施設を運営している豊徳会が、9月20日に方城グラウンドで「第9回豊徳祭」を行いました。会場には地域の団体などによる露店が並び、豪華賞品が当たる抽選会のほか、特設ステージでの太鼓やダンス、神楽などの多彩な催しが大盛況。イベントには約1,500人の来場者が訪れ、施設利用者や地域住民などが交流を深めて幕を閉じました。